SBS GROUP
For Your Dreams.

2026年度 第3四半期　決算説明資料

SBSホールディングス株式会社（東証プライム市場：2384）
2026年11月13日

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス

01 エグゼクティブ・サマリー

02 2026年度第3四半期 連結業績概要

03 2026年度 連結業績予想

04 Appendix

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

01 エグゼクティブ・サマリー
02 2026年度第3四半期 連結業績概要
03 2026年度 連結業績予想
04 Appendix

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

エグゼクティブ・サマリー

- 成長戦略と収益構造改革の成果が業績を牽引
- 収益基盤・事業基盤の強化が進展、2030年中計目標に向け着実に前進

2026年度 3Q 業績概要	● 連結業績は、増収増益。売上高、各利益項目ともに過去最高を更新 売上高 **4,385億円**（前年同期比 **+20.4%**）、営業利益 **229億円**（同 **+32.5%**） ● 主力の物流事業は、高成長を牽引し、過去最高を達成 売上高 **4,097億円**（前年同期比 **+21.2%**）、営業利益 **128億円**（同 **+55.4%**）
オーガニック成長	● 成長戦略： 3PL領域を中心に着実な成長モメンタムが継続 3PL売上高 **2,755億円**（前年同期比 **+731億円**）、2026年度修正計画に対する進捗率 **75.8%** ● 物流事業収益構造改革：収益改善は計画を上回って進展 **【物流事業営業利益率】** 2025年度実績 2.6% ➔ 2026年度期初計画 2.8% ➔ 2026年度修正計画 3.0% ➔ 2026年3Q累計実績 **3.1%**
イン・オーガニック成長	● 三菱ケミカル㈱が保有する三菱ケミカル物流㈱の発行済全株式を取得（2027年4月予定） ● 化学品・危険品物流においてトップクラス企業のグループ化により、物流事業ポートフォリオを拡充させるとともに、化学品・危険物領域を得意とする新たなプラットフォーマーを目指す

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

01 エグゼクティブ・サマリー

02 2026年度第3四半期 連結業績概要

03 2026年度 連結業績予想

04 Appendix

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

2026年度 第3四半期 連結業績

- 主力の物流事業が業績を牽引し、売上高、各利益項目ともに3Qベースとして過去最高を更新

売上高	営業利益	当期純利益
+20.4%	+32.5%	+42.9%
前年同期比	前年同期比	前年同期比

（単位：百万円）

	25/3Q累（注）	26/3Q累	増減額	増減率
売上高	364,360	438,543	+74,183	(+20.4%)
営業利益	17,310	22,939	+5,628	(+32.5%)
経常利益	17,354	22,941	+5,586	(+32.2%)
親会社株主帰属四半期純利益	9,619	13,745	+4,126	(+42.9%)
一株当たり四半期純利益（EPS）	242.21 円	346.09 円	+103.88 円	(+42.9%)

（注）2025年12月期第4四半期に企業結合に係る暫定的な会計処理が確定したことに伴い、25/3Q累計の各利益およびEPSは、その確定した内容を反映しております。
反映値（反映前 → 反映後）：25/3Q累 営業利益 17,338 → 17,310、経常利益 17,382 → 17,354、親会社株主に帰属する四半期純利益 9,625 → 9,619　※EPSへの影響はありません。

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス

セグメント別業績

- すべてのセグメントが前年同期比増収増益、3Qベースとして過去最高益を更新

【物流事業】
- 売上高は、3PL新規顧客の獲得や新規連結の開始等により増収、営業利益は、新規顧客拡大や新規連結の効果に加え、料金適正化、既存不採算拠点の収支改善の進展により増益

【不動産事業】
- 不動産流動化の規模拡大により増収増益

（単位：百万円）

セグメント		25/3Q累	26/3Q累	増減額	増減率	増減内容
売上高	物流	338,038	409,775	+71,736	(+21.2%)	
	不動産	18,662	19,669	+1,006	(+5.4%)	不動産流動化実施額 増加（+802）
	その他	7,659	9,098	+1,439	(+18.8%)	マーケティング事業・環境事業 増収
	合計	364,360	438,543	+74,183	(+20.4%)	
営業利益	物流	8,250	12,824	+4,574	(+55.4%)	
	物流利益率	2.4%	**3.1%**		(+0.7%)	
	不動産	9,030	9,364	+333	(+3.7%)	不動産流動化実施額 増加（+176）
	その他	451	681	+229	(+50.8%)	マーケティング事業・環境事業 増益
	調整額	△422	67	+490	–	
	合計	17,310	22,939	+5,628	(+32.5%)	
	利益率	4.8%	5.2%		(+0.4%)	

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス

主要グループ会社別業績

- SBS東芝ロジ　：家電・半導体等の物量増に加え、新規顧客の獲得や料金適正化の進展により、増収増益
- SBSネクサード：オフィス通販物量増や新規顧客の獲得により増収、一時的なコスト増や事務機器物量減の影響により減益
- SBSロジコム　：新規顧客獲得や既存顧客の物量増等に加え、料金適正化の進展、既存事業所の収支改善等により、増収増益

（単位：百万円）

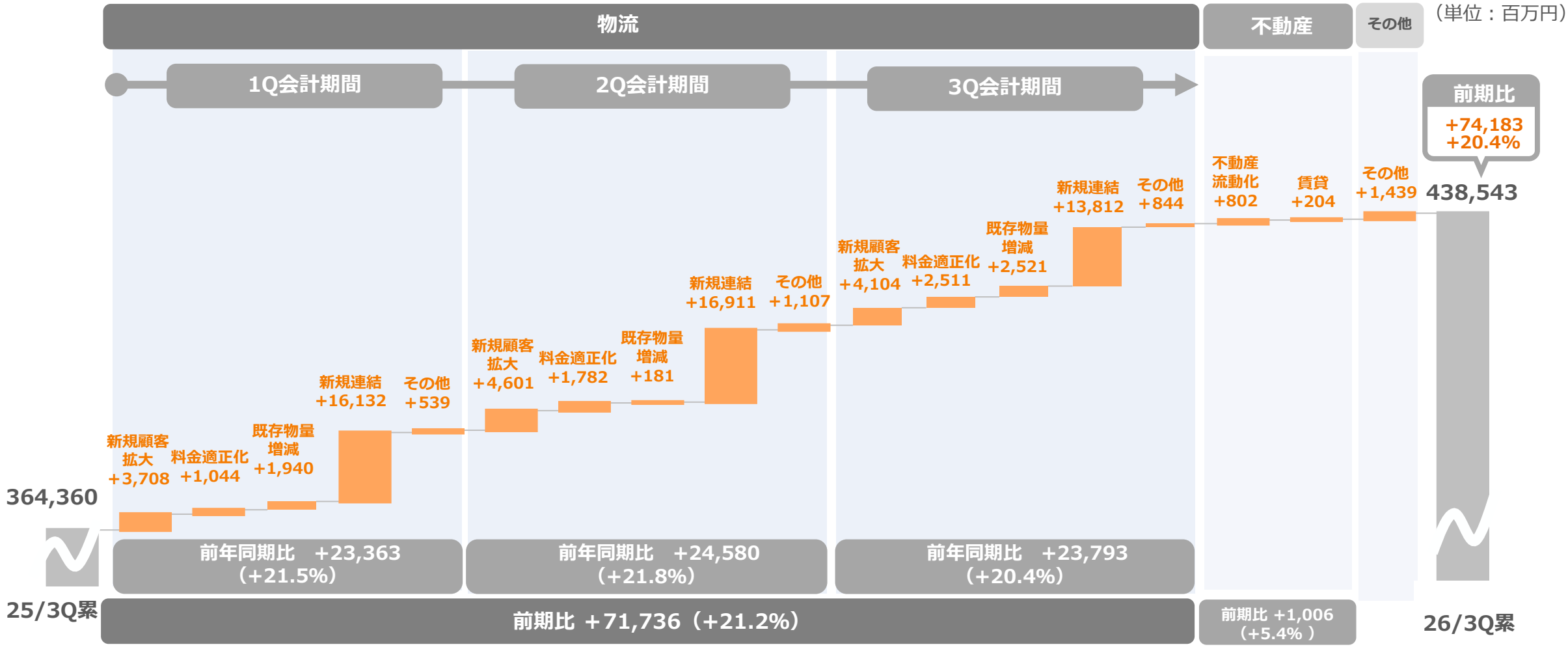
		25/3Q累	26/3Q累	増減額	増減率	増減内容
SBS東芝ロジスティクスグループ	売上高	93,324	101,817	+8,492	(+9.1%)	・家電・半導体等物量増
	営業利益	3,635	4,789	+1,154	(+31.8%)	・新規・既存の物量増、料金適正化
SBSネクサードグループ (旧社名) SBSリコーロジスティクスグループ	売上高	79,856	83,560	+3,703	(+4.6%)	・オフィス通販物量増、新規顧客獲得等
	営業利益	2,401	2,264	△136	(△5.7%)	・オフィス通販物量増に対するコスト増
SBSロジコムグループ	売上高	56,547	65,414	+8,867	(+15.7%)	・新規顧客獲得、既存顧客拡大等
	営業利益	4,054	4,790	+736	(+18.2%)	・新規顧客獲得、既存顧客物量増、料金適正化、既存事業所の改善
3社 合計	売上高	229,728	250,792	+21,063	(+9.2%)	
	営業利益	10,090	11,844	+1,754	(+17.4%)	
その他 計	売上高	134,631	187,750	+53,119	(+39.5%)	・新規連結効果（+46,855） ・不動産流動化（+802）
	営業利益	7,220	11,094	+3,874	(+53.7%)	・新規連結効果（+1,117） ・不動産流動化（+176）
連結業績 計	売上高	364,360	438,543	+74,183	(+20.4%)	
	営業利益	17,310	22,939	+5,628	(+32.5%)	

※1　数値は、社内管理ベース
※2　SBSロジコムグループは不動産流動化数値を除く

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス

セグメント別売上高 増減要因



※今回より、既存顧客の物量変動をより適切に示すため、増減内訳の集計区分を見直しております。従来の「新規・既存顧客拡大」のうち、既存既存顧客の拡大分を「既存顧客の物量減少」とネットして、「既存物量増減」と表示しています。本変更による増減額の合計への影響はありません。 これに伴う １Q、 ２Qの修正は次のとおりです。

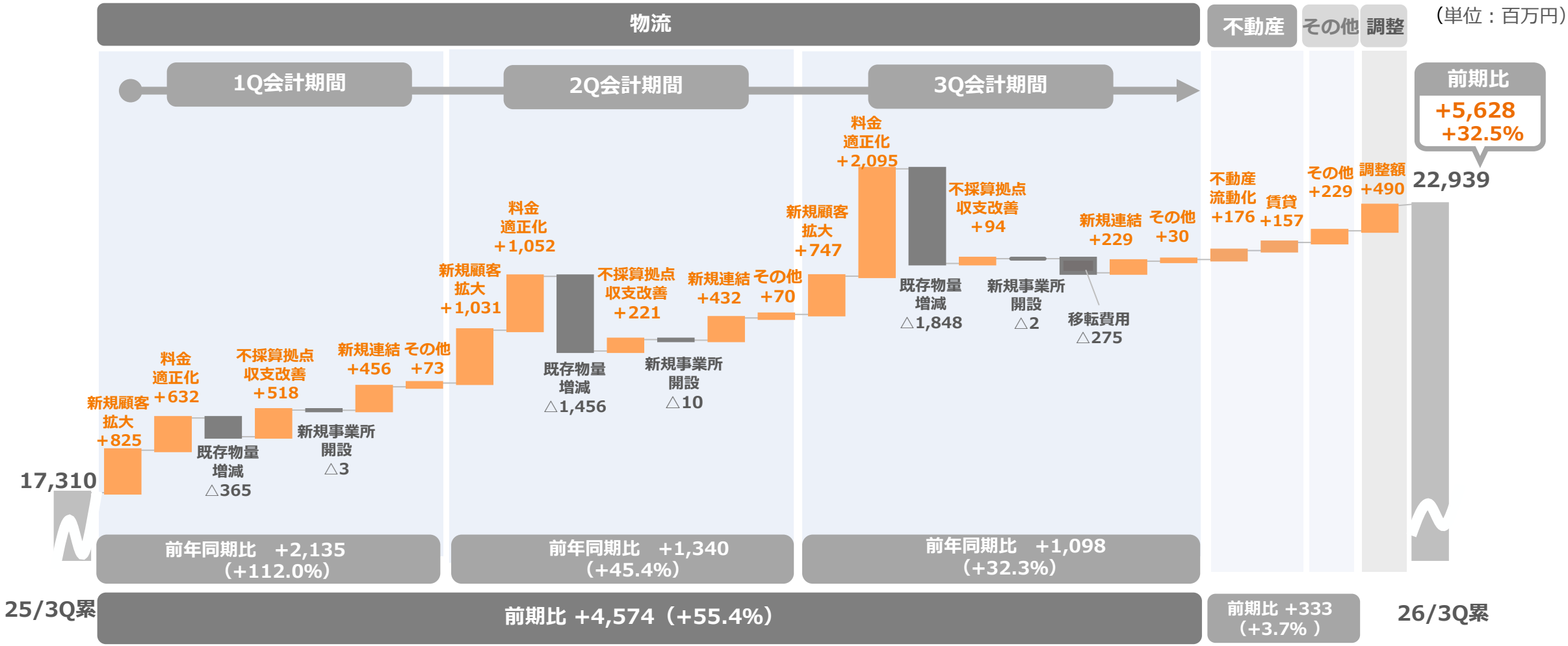
変更前→変更後：「新規・既存顧客拡大」 →「新規顧客拡大」 1Q 9,333 → 3,708 2Q 11,023 → 4,601

「 物量減少」 →「既存物量増減」 1Q △3,685 → 1,940 2Q △ 6,241 → 181

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス

セグメント別営業利益 増減要因



※今回より、既存顧客の物量変動をより適切に示すため、増減内訳の集計区分を見直しております。従来の「新規・既存顧客拡大」のうち、既存既存顧客の拡大分を「既存顧客の物量減少」とネットして、「既存物量増減」と表示しています。本変更による増減額の合計への影響はありません。 これに伴う １Q、 ２Qの修正は次のとおりです。

変更前→変更後：「新規・既存顧客拡大」 → 「新規顧客拡大」 1Q 1,714 → 825 2Q 2,018 → 1,031

「 物量減少」 → 「既存物量増減」 1Q △1,254 → △365 2Q △2,443 → △1,456

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

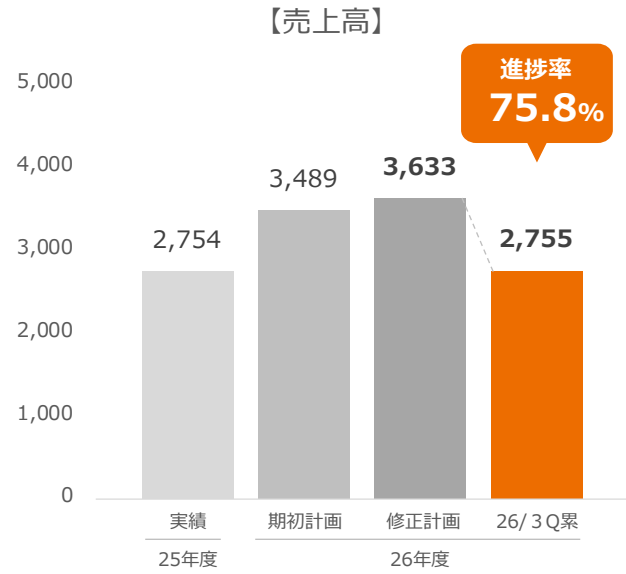
SBS ホールディングス

成長戦略の進捗状況

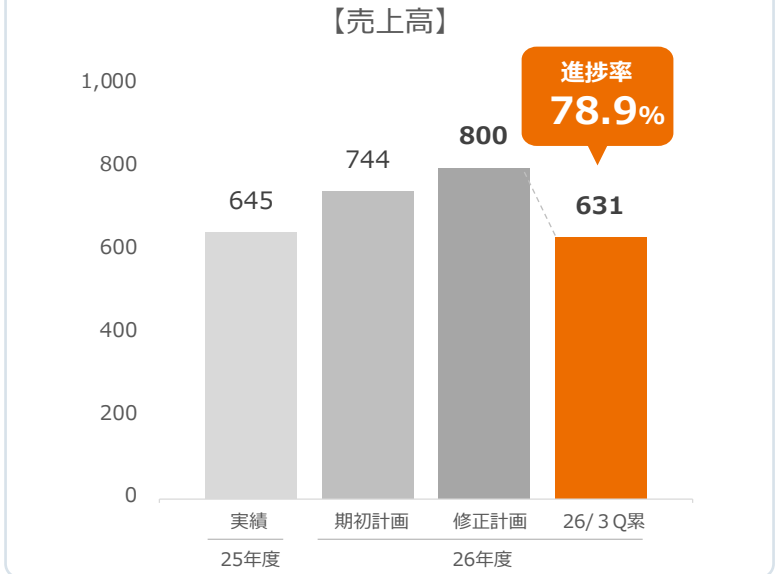
- **３ＰＬ**　：新規顧客の獲得に加え、既存物量も順調に拡大。上方修正計画を上回る進捗
- **国際物流**：メーカー生産品物量や電子部品物量などが順調に推移。上方修正計画を上回る進捗
- **ＥＣ物流**：ＥＣ関連物量の伸びはやや鈍化。最需要期の４Ｑにかけて物量の着実な取り込みを図る

（単位：億円）

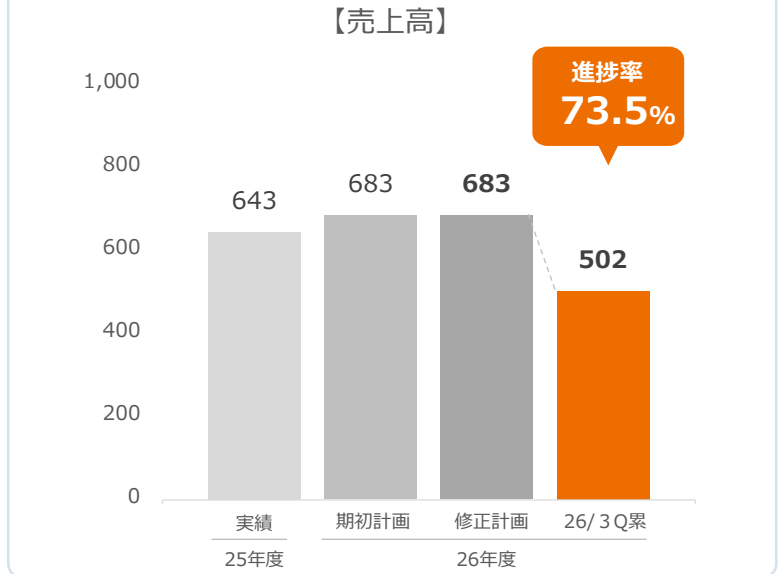
３ＰＬ



国際物流



ＥＣ物流



※集計方法の見直しにより、26年度計画を修正しております。

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス

物流事業 収益構造改革の進捗状況

物流事業 営業利益率

2024年度	2025年度					2026年度						2030年度
通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	期初計画	修正計画	1Q	2Q	3Q	3Q累計	目 標
2.2%	1.8%	2.6%	2.9%	3.0%	**2.6%**	2.8%	3.0%	3.1%	3.1%	**3.2%**	**3.1%**	**4.5%**
	本社移転等の一過性費用を除いた「**ベース物流利益率**」					: ▶				**(3.4%)**	**(3.2%)**	
	26年度からの新規連結・一過性費用を除いた「**既存事業の物流利益率**」					: ▶	(3.2%)	(3.4%)		**(3.5%)**	**(3.3%)**	

利益率改善要因

(単位：百万円)

	2025年度					2026年度				25年-26年
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	3Q累計	累計
① 不採算拠点収支改善額（+）	△465	+963	+620	+676	+1,794	+518	+221	**+94**	**+833**	**+2,627**
② 料金の適正化（+）	+661	+719	+707	+533	+2,620	+632	+1,052	**+2,095**	**+3,779**	**+6,399**
③ 本社移転等の一過性費用増（△）(26/3Q)								△275	△275	

「既存事業の物流利益率」
収益構造改革により
+0.7% 改善
25年通期 → 26年3Q累計
2.6% 3.3%

倉庫の空き坪状況

	2024年度	2025年度	2026年度	
	12月末 実績	12月末 実績	12月末 計画	9月末 実績
空き坪	25,500	20,964	10,364	23,614
空き坪比率	2.38%	1.66%	0.90%	**1.87%**

<参考>
大型マルチテナント型物流施設の空室率状況
・**首都圏 7.7%**（対2026年2Q比 0.1%低下）
（出所）
CBRE「ジャパンロジスティクスマーケットビュー 2026年第3四半期」

2024年度 開設拠点 赤字額推移

(単位：百万円)

2024年度	2025年度	2026年度
実績	実績	3Q累 実績
△2,150	△1,544	△541

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス

イン・オーガニック戦略：三菱ケミカル物流の株式取得

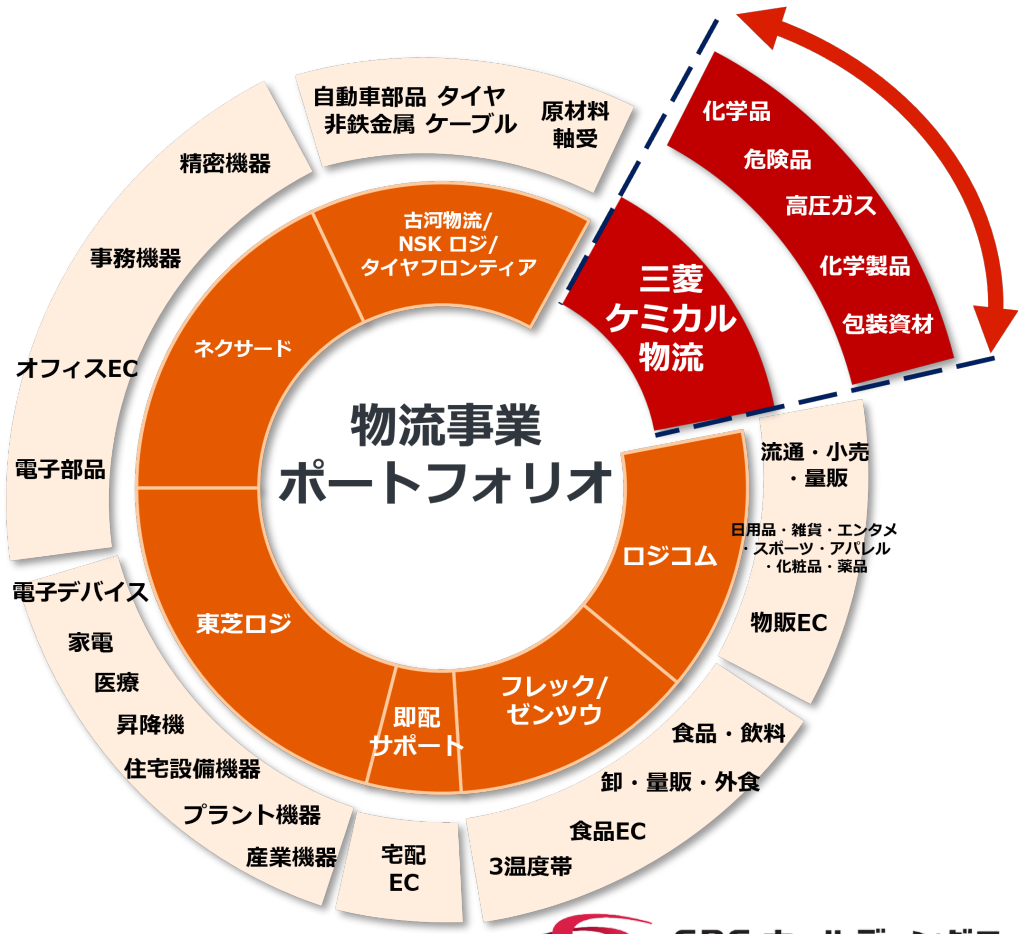
- 2026年9月、三菱ケミカル(株)が保有する「三菱ケミカル物流(株)」の発行済全株式取得を公表(株式取得:2027年4月予定)

- 化学品・危険品物流においてトップクラス企業のグループ化により、これまで手薄であった化学・危険物領域のピースを埋め、物流事業ポートフォリオを拡充。
  化学品・危険物を得意領域とする新たなプラットフォーマーを目指す。

三菱ケミカル物流 会社概要

事 業 内 容：化学品、危険品を中心とする国内外一貫物流(総合物流)
　　陸運、海運、フォワーディング、油槽所、生産物流、包装資材
売　上　高：　**803** 億円　(26/3期)
従 業 員 数：**1,422** 名　(26/3末)
拠　点　数：国内 **36**か所 (**2**か所の油槽所、**22**棟の危険物倉庫)
倉 庫 面 積：**16.3**万㎡
保有車両・船舶：トラック **245**台、ローリー**295**台、社船**2**隻、用船**12**隻
保有コンテナ　：各種輸送コンテナ**428**基

物流事業ポートフォリオの拡充



Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス

01 エグゼクティブ・サマリー

02 2026年度第3四半期 連結業績概要

03 2026年度 連結業績予想

04 Appendix

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

26年度(2026年12月期) 連結業績予想

- 26年度通期連結業績予想は、26年度中間期（2026年8月7日＜修正＞）に上方修正した予想を据え置き

通期予想

（単位：百万円）

	25年度 実積	26年度 予想 (2026年8月7日修正)	増減額	増減率
売上高	490,344	**580,000**	89,655	(18.3%)
営業利益	21,295	**26,500**	5,204	(24.4%)
経常利益	21,143	**26,000**	4,856	(23.0%)
親会社株主に帰属する当期純利益	11,783	**14,500**	2,716	(23.1%)
一株当たり当期純利益	296.68 円	**365.08 円**	68.40 円	(23.1%)
ROE	12.7%	**14.1%**		

セグメント別内訳　通期予想

（単位：百万円）

セグメント		25年度 実績	26年度 予想 (2026年8月7日修正)	増減額	増減率
売上高	物流	460,233	547,000	+86,766	(+18.9%)
	不動産	19,331	20,000	+668	(+3.5%)
	その他	10,778	13,000	+2,221	(+20.6%)
	合計	**490,344**	**580,000**	+89,655	(+18.3%)
営業利益	物流	11,888	16,500	+4,611	(+38.8%)
	物流利益率	**2.6%**	**3.0%**		
	不動産	9,142	9,200	+57	(+0.6%)
	その他	675	900	+224	(+33.3%)
	調整額	△409	△100	+309	–
	合計	**21,295**	**26,500**	+5,204	(+24.4%)
	利益率	**4.3%**	**4.6%**		

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス

01 エグゼクティブ・サマリー

02 2026年度第3四半期 連結業績概要

03 2026年度 連結業績予想

04 Appendix

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

中期経営計画Harmonized Growth 2030 基本方針

（※2026年2月発表 2025年12月期決算説明資料抜粋再掲）

- 物流事業の成長戦略（3PL、国際物流、EC物流）＆不動産開発のオーガニック成長と、独自の競争優位性持つM&Aによりインオーガニックな高成長を組み合わせた成長を実現
- 同時に近年低下した物流事業の営業利益率改善に向けて収益構造改革を推進、トップラインとバランスのとれた成長を目指す。

成長戦略

■ **オーガニック成長（物流×不動産開発）**
- **“ブルーオーシャン戦略”**
  個社の“勝ち筋”を明確にし可視化して深耕
- 不動産開発事業を安定収益源とし、パイプラインの安定的な推進を維持

■ **インオーガニック成長（M&A×PMI）**
- メーカー物流、輸送別ネットワーク強化につながる企業等をターゲット

×

構造改革

■ **４つのKPIを軸にPDCAサイクル推進**
- 不採算拠点・事業の撲滅
- 倉庫空き坪の解消
- 人員構成の最適化
- 料金適正化の取り組み強化

■ **新規受注案件の審査体制強化**
- SBSHD主導でグループ共通の審査体制構築

Harmonized Growth 2030

売上高（連結）
7,000億円

営業利益率（物流事業）
4.5%

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス

中期経営計画Harmonized Growth 2030 重要戦略

（※2026年2月発表 2025年12月期決算説明資料抜粋再掲）

Harmonized Growth 2030 重要戦略				
成長戦略	オーガニック	事業領域	３ＰＬ	グループ会社が有する競争優位性を“ブルーオーシャン”として設定、営業データベースを可視化し深耕
			国　際	再編した海外事業推進体制を基盤に、グループ内の連携を強化。M&Aを生かし欧州での業容を拡大
			Ｅ　Ｃ	運営を事業会社（SBSロジコム）へ移管、さらなる事業拡大を目指す
		事業基盤		■ 幹線ネットワークとラストワンマイル網の強化。トラック新法施行を見据え自車比率の引き上げ ■ 倉庫・輸配送ネットワーク、自社車両増強、国際物流網等グループの物流事業の基盤強化 ■ リスキリングやグループ内人事交流を通じた人財確保・適正配置。外国人ドライバーの育成
		不動産開発		■ 物流施設の自社開発は対象エリアを全国に拡大し継続。用地仕入れ積極化 ■ 保有資産の流動化を促進、財務の健全性を維持
		LT×IT		■ 省力省人化技術による現場の合理化、人手不足を補う堅牢な運営体質づくり ■ 物流データ利活用による物流の高度化を通じた競争優位性の確立 ■ AIの積極活用により間接部門のローコスト化を追求
	インオーガニック	M&A PMI		■ 豊富なM&A実績で培ったノウハウで競争力ある提案、クロージング、PMIの推進 ■ ターゲットとして、国内メーカー物流のほか輸配送ネットワーク拡充を見据えた案件を想定
構造改革				■ グループ共通の４つのKPIをベースにPDCA推進 ①不採算事業・拠点解消　②倉庫空き坪削減　③最適人員配置　④料金適正化の徹底 ■ 新規受注案件の審査体制強化
サステナビリティ経営戦略				■ ガバナンス強化、重要課題の取り組み　■安全・安心な物流サービス ■ 環境重視のインフラ構築　■人的資本経営
企業価値向上に向けた取組み				■ ROE,PER,PBRを重視し資本コストと資本収益性を意識した事業運営 ■ 戦略的キャピタル・アロケーションを通じ成長基盤への投資と株主還元を拡大

Copyright SBS Holdings, Inc. All rights reserved.

SBS ホールディングス